

エステサロン用化粧品のフェースグループが
ナノカプセル技術で製法特許を取得

フェースグループ（本社：大阪市中央区、COO：小島真一）は、かねてより出願中の独自のナノカプセル技術である「フェース生コラーゲン」とそれを使用した化粧品に関する特許を、以下のとおり取得することができましたので、お知らせいたします。

【特許の概要】

特許番号： 第5695308号

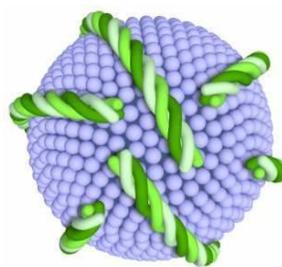
発明事項：コラーゲン修飾二鎖型閉鎖小胞体※からなる化粧品基剤およびそれを含有する皮膚化粧料

特許取得日：平成27年2月13日

※コラーゲン修飾二鎖型閉鎖小胞体のことを「フェース生コラーゲン」と呼称しております。

この度認められました特許の内容は、以下のとおりです。

- ① 角質層への浸透に優れたフェース生コラーゲンの製法特許
- ② フェース生コラーゲン製剤の製法特許
- ③ フェース生コラーゲン製剤の配合特許



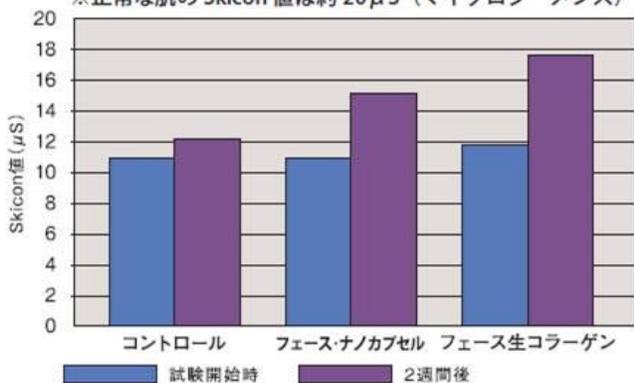
フェース生コラーゲンのイメージ図

これらは、「フェース生コラーゲン」とそれを使用した化粧品を作る技術が非常に困難で、唯一無二の新しい技術であり、肌に入る化粧品として様々な可能性が認められたものです。なお、「フェース生コラーゲン」を使用した化粧品はすでに市場導入されております。フェース生コラーゲンが肌に入り、当社の提唱する「角質層内を整えるラメラ美容法」を実現することにより、健康的な素肌へ導くことが可能な化粧品です。

<公開特許公報中の実施例>

フェース生コラーゲン製剤が持つラメラ構造の修復力

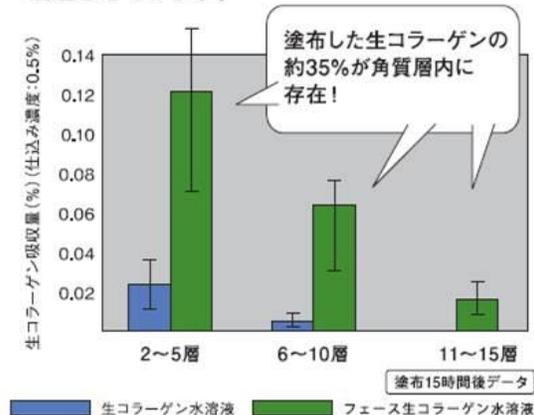
※正常な肌の Skicon 値は約 20 μ S (マイクロジーメンズ)



Skicon値は「電流の通り易さ」を表す数値で、皮膚中の水分量が多いほど高い値を示します。フェース・ナノカプセルを塗布した部位(15 μ S)は、コントロール部位(12 μ S)に対して明らかに皮膚水分量の回復を促進しています。そして、生コラーゲンが巻き付いたフェース生コラーゲン塗布部位は更に回復を促しており(15 μ S⇒約18 μ S)、この差が、フェース・ナノカプセルと一緒に角質層に浸透した生コラーゲンの保水力を表しています。

フェース・ナノカプセルが肌生コラーゲンを浸透させる力

通常、角質層に浸透できる物質は分子量 500 程度、経皮吸収促進剤などを併用して半強制的に浸透させたとしても分子量数千程度が限界とされています。しかし、生コラーゲンを巻きつけたナノカプセルは、自身の浸透力によって分子量 30 万の巨大分子・生コラーゲンを角質層内に浸透させています。



今後とも、さらなる技術革新に邁進し、一人でも多くの方の「美しくなりたい」という想いを実現して参ります。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社フェース 販促企画部 (石川・菅井)

TEL 06-6945-6654

<お客様からの商品のお問い合わせ先>

株式会社フェースビューティ お客様相談室

TEL 0120-377-655

(平日9:00~17:00土日祝除く)